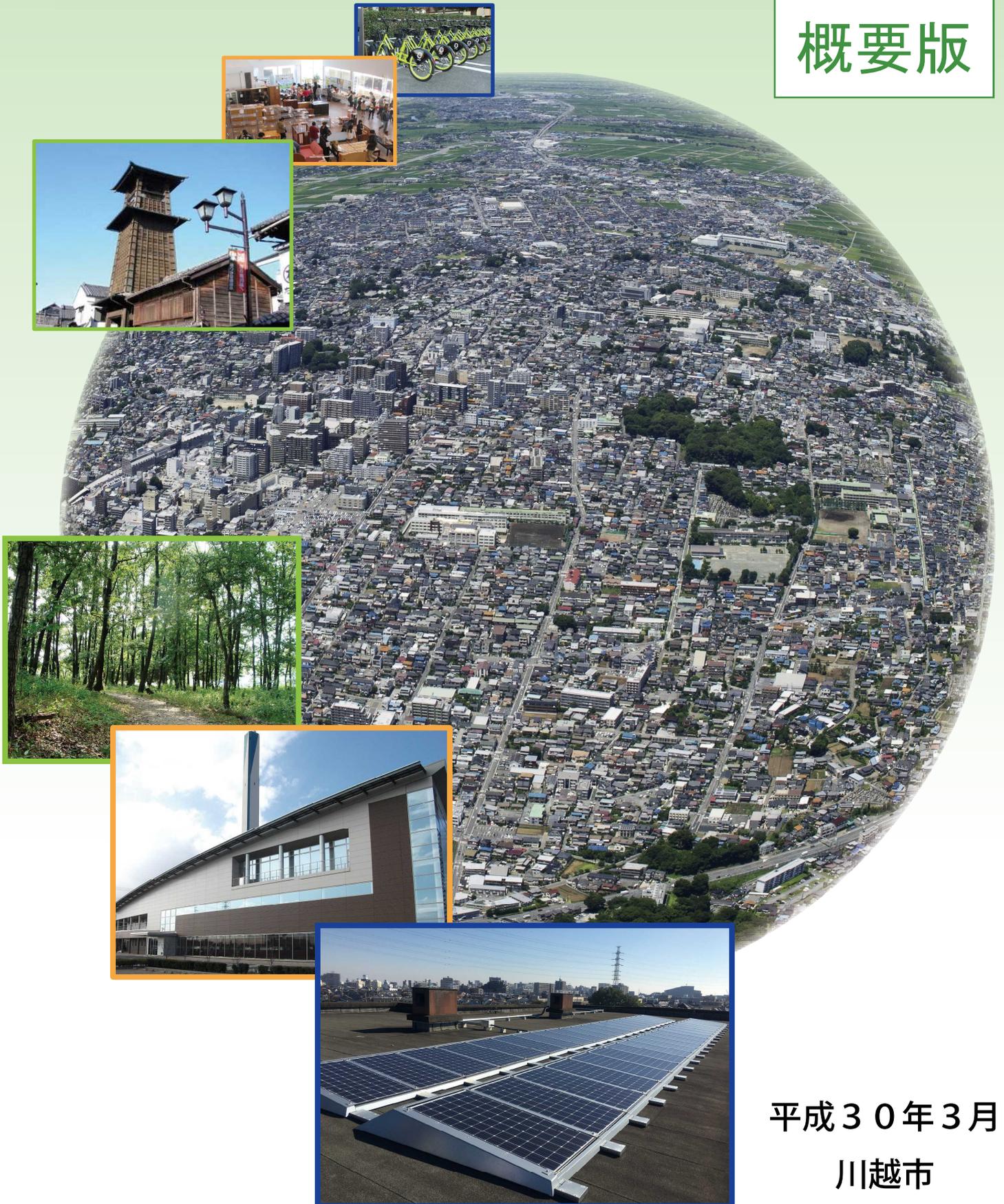


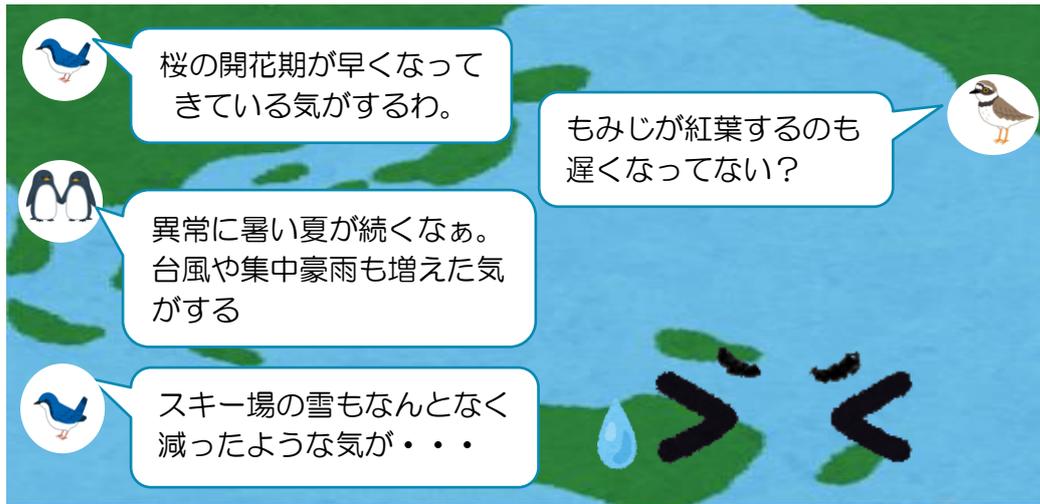
第三次川越市地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）

概要版



平成30年3月
川越市

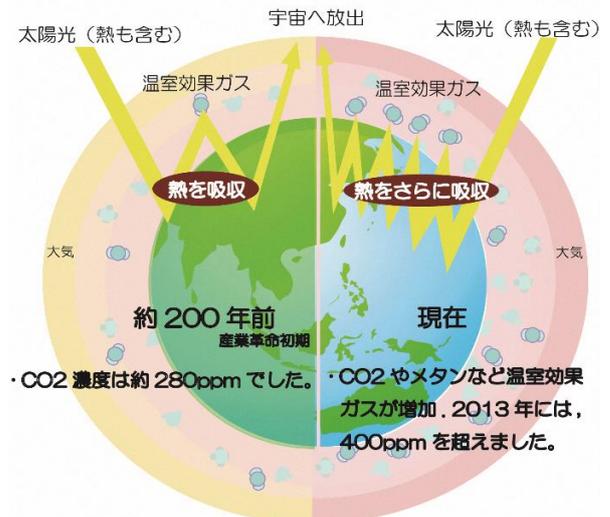
最近こんなこと感じていませんか？



「地球温暖化」は、他人事でも遠い未来の出来事でもありません。

「地球温暖化」ってどういうことなの？

地球は、太陽からのエネルギーで暖められ、その熱の一部が宇宙に放出されます。大気中の二酸化炭素やメタンなどは「温室効果ガス」と呼ばれ、暖められた熱を宇宙に逃がさない働きをしています。もし、温室効果ガスがなければ、地球の気温は低くなりすぎて、私たちは暮らしていけません。熱の放出と保温のバランスがうまくつ合っていると、地球の平均気温は約 15℃に保たれ、生き物が暮らすのにちょうどよい環境となります。しかし、温室効果ガスが大量に増えると、大気中の熱が放出されにくくなり、熱を吸収することで地球がしだいに暑くなっていきます。これが「地球温暖化」です。



※IPCC 第 5 次評価報告書の図を参考に作成

このままだとどうなってしまうのだろう？

このまま地球温暖化が進むと、様々な気候変動が起き、高潮による浸水、水不足、作物不作などが生じると指摘されています。また、高温化やそれに伴う熱中症患者の増加、浸水や台風の強大化なども懸念されています。

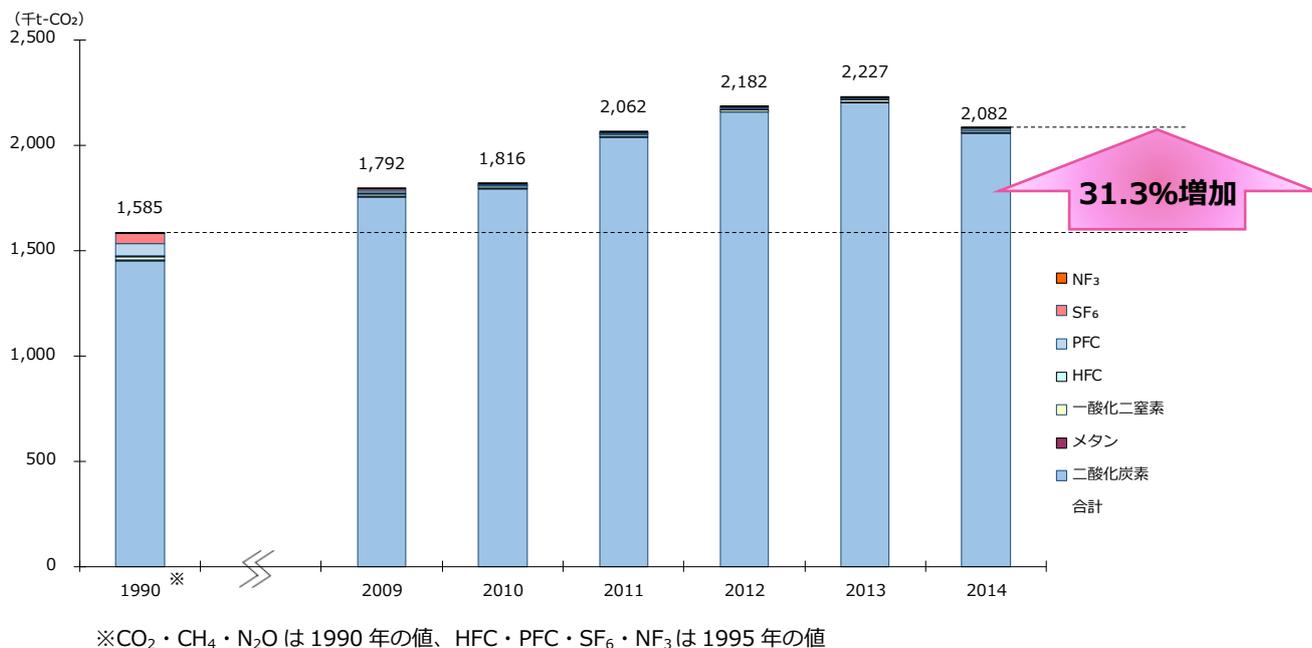
私たち一人ひとりが意識を変え、行動を起こす必要があります



川越市における温室効果ガス排出量

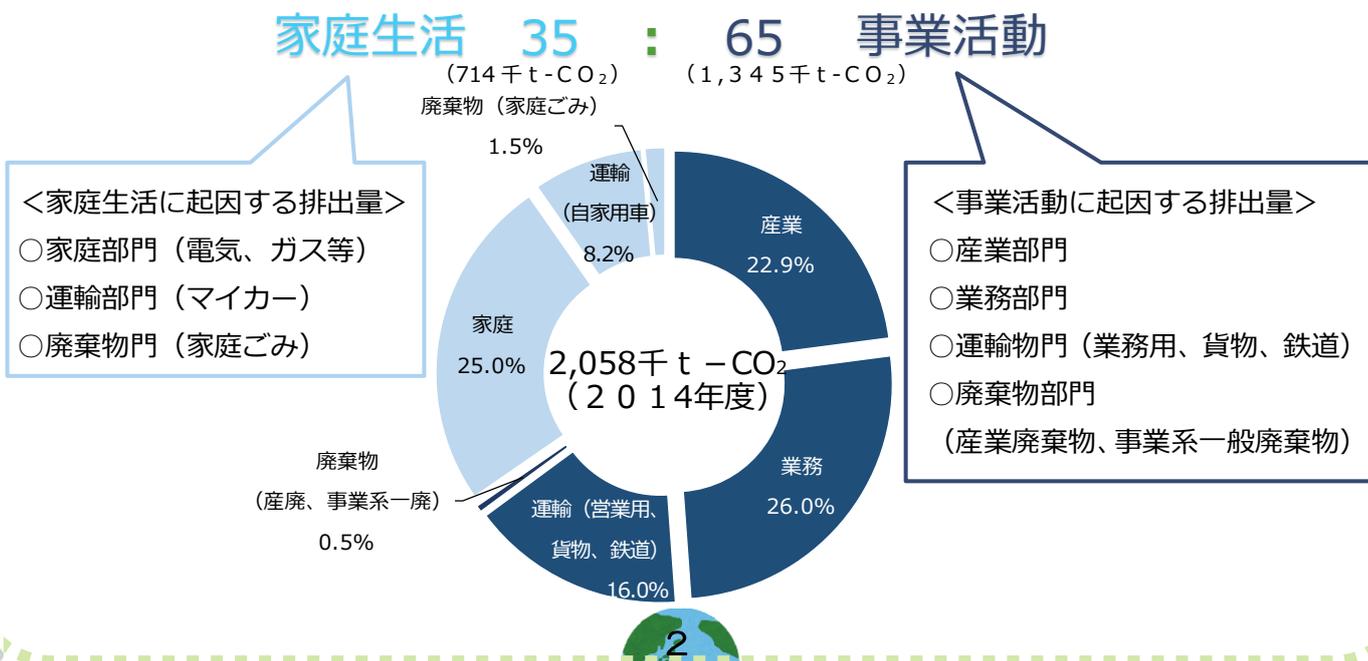
温室効果ガス全体の排出量

川越市における 2014 年度（平成 26 年度）の温室効果ガス総排出量は、2,082 千 t-CO₂ で、1990 年度（平成 2 年度）から 31.3%増加しています。温室効果ガスの種類別の内訳では、二酸化炭素が大半であり、全体の 98.9%を占めています。



主体別の二酸化炭素排出量

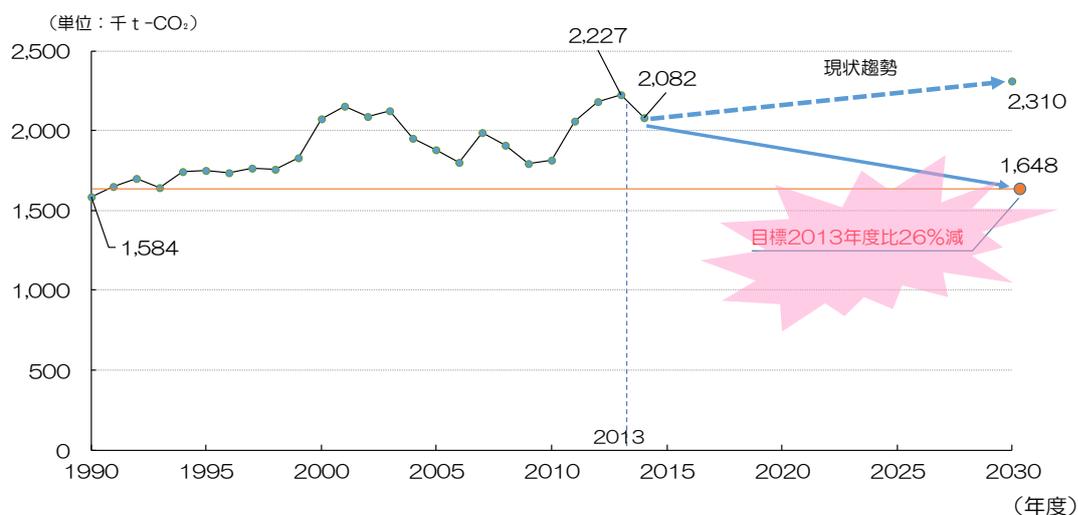
2014 年度（平成 26 年度）の二酸化炭素排出量（2,058 千 t-CO₂）を主体別に見ると、産業活動や事務所等の業務、営業車両等の事業活動に起因するものが 65.3%を占め、一般家庭や自家用車等市民生活に起因するものが 34.7%となっています。



温室効果ガスの削減目標

2030年度（平成42年度）までに、
2013年度（平成25年度）に対し26%削減

電力の排出係数の改善、ZEH やスマートメーターの普及促進など国や民間団体が中心となった取組、省エネルギー・再生可能エネルギーの機器普及促進や家庭における環境配慮行動の促進など市が中心となって取り組むものにより、市域における温室効果ガス排出量の削減を図ります。



川越市が目指す低炭素都市としての将来像

市域のあらゆる主体が、一体となって目指すべき将来都市像と基本理念を次のとおり掲げます。

【将来像】

みんなで作る、豊かさを実感できる 二酸化炭素排出の少ないまち

【基本理念】

① 二酸化炭素の排出量が最小限であること



② 「もったいない」の心を大切にすること



③ 自然とともに生きること



施策の体系

将来像として掲げる「みんなでつくる、豊かさを実感できる 二酸化炭素排出の少ないまち」の実現に向けて、2050年度（平成62年度）を見据えつつ、本計画に掲げる2030年度（平成42年度）の目標を達成するため、4つの施策、7つの重点プロジェクトにより取り組んでいきます。

みんなでつくる、豊かさを実感できる 二酸化炭素排出の少ないまち

1. 再生可能エネルギーの導入

- (1) 再生可能エネルギー等の普及促進
- (2) 行政の率先実行
(太陽光発電システムの導入等)

重点プロジェクト

①・③・④

2. 市民・事業者の活動促進

- (1) 家庭における省エネ行動
- (2) 事業所における省エネ行動
- (3) 住宅・建築物の省エネ化
- (4) 設備・機器の省エネ化
- (5) 緑化・雨水利用の促進
- (6) 自動車の省CO₂化
- (7) 行政の率先実行（省エネ推進等）
- (8) 環境教育等の推進
- (9) 多様な主体と連携確保

重点プロジェクト

②・③・④・⑤・⑥・⑦

3. 地域環境の整備

- (1) 低炭素都市デザイン
- (2) 交通体系の整備
- (3) 森林吸収源対策
- (4) 身近な緑地の保全、緑化の推進

重点プロジェクト

⑤・⑥

4. 循環型社会の構築

- (1) 家庭における廃棄物（ごみ）対策の推進
- (2) 事業所における廃棄物（ごみ）対策の推進

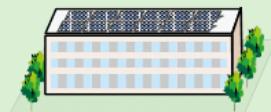
重点プロジェクト

⑦

重点プロジェクト

①再生可能エネルギー普及促進プロジェクト

自然の恵みを生かした再生可能エネルギー利用機器について、重点的に普及を図るとともに、資源化センターにおける廃棄物発電や廃熱の有効利用によるエネルギーの地産地消を進めていきます。



②川エコ市民運動プロジェクト

川越市民全体の運動として地球温暖化対策に取り組む気運を高め、省エネ行動の実践に結びつけるとともに、将来に向けて「川エコの知恵」を実践できる人づくりを進めていきます。



「川エコの知恵」ロゴマーク

③エコチャレンジカンパニー普及促進プロジェクト

規制的な手法だけでなく、補助制度、ノウハウや情報提供の充実、多様な手法を組み合わせることにより、事業活動における省エネや環境経営を促進し、積極的に環境配慮に取り組む事業者をバックアップしていきます。



④エコハウス普及促進プロジェクト

建物と機器の両面から住まいの省エネ性能向上や再生可能エネルギーの普及を図り、快適さと省エネ性能を兼ね備えた二酸化炭素排出の少ないスマートな住まいを普及させていきます。



⑤グリーン交通プロジェクト

通勤・通学等における公共交通機関の利用、次世代自動車への移行やエコドライブの実践を働きかけます。また、地産地消の普及促進を図り、食生活の面からもエネルギーや地球温暖化問題についての関心を喚起します。これらにより、日々の身近な暮らしの中から、自動車利用のあり方について見つめ直し、運輸部門全体の二酸化炭素排出量の抑制につなげていきます。



⑥緑のまちづくりプロジェクト

多様な緑の機能を生かし、うるおいと安らぎを感じるまちづくりを推進していくため、「保存樹林・樹木」や「市民の森」等の各種指定制度により樹林地や樹木を保全するとともに、苗木配布、緑のカーテン等を通して緑化を推進していきます。



⑦ごみダイエツトプロジェクト

ごみの3R（ごみを減らす【リデュース：Reduce】、ものを繰り返し大事に使う【リユース：Reuse】、資源として再利用する【リサイクル：Recycle】）を基本として、市民、事業者等との協働により、ごみの減量・資源化を推進し、温室効果ガス排出量の抑制を図ります。



つばさ館の3R体験コーナー

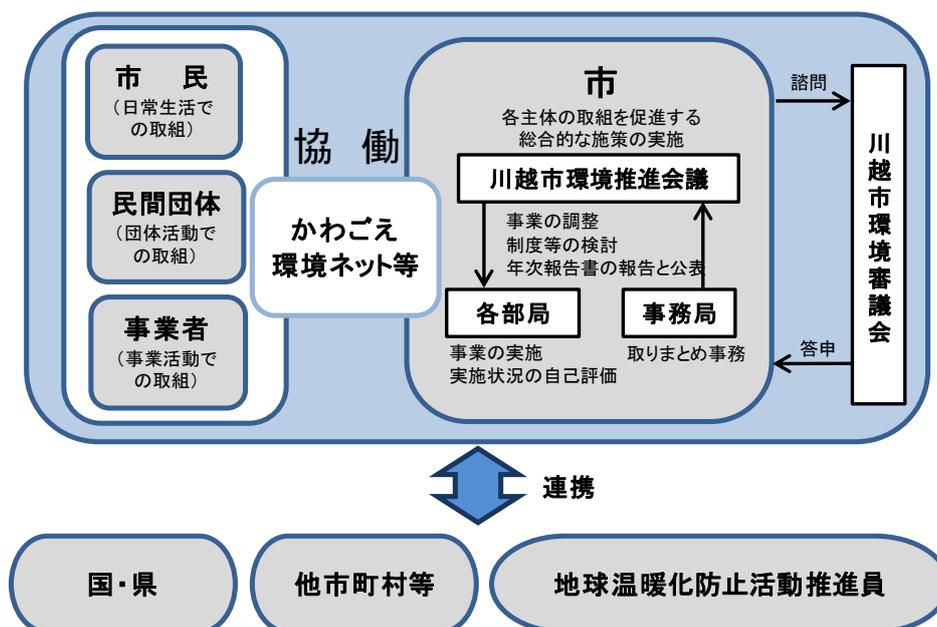
地球温暖化への適応策

気候変動の影響に対処するため、温室効果ガスの排出の抑制等を行う「緩和」だけでなく、すでに現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して「適応」を進めることが求められています。本市では、以下の分野について気候変動の影響に対する取組を推進していきます。

農業対策	・ 土壌や気候など川越の環境に適応した農産物の栽培を支援
治水・水害対策	・ 雨水の貯留・浸透対策の推進 ・ 雨水施設整備の推進 ・ 河川整備等の推進 ・ 防災拠点施設の整備
熱中症対策	・ 熱中症に関する情報の提供 ・ 暑熱環境から回避できる居場所づくり
感染症対策	・ 蚊等の媒介生物を介した感染症のリスクについて情報収集、発信
観光客の暑熱対策	・ 涼しく過ごすことができる「クールシェアスポット」を観光客へ周知
市民生活・都市生活対策	・ ヒートアイランド対策 ・ 緑の保全と創出
市民への啓発	・ 適応策に関する環境教育・環境学習の推進、問題意識の共有

計画の推進体制・進行管理

削減目標を達成するため、以下の体制により地域ぐるみで計画を推進していきます。計画の進行管理にあたっては、温室効果ガス排出量を把握し、指標や環境マネジメントシステムなどを活用し、年次報告を行うとともに必要に応じて計画を見直します。



エコでお得な暮らしを始めよう！！

かけがえのない地球を守るためには、私たち一人ひとりが意識を変え、小さなことからでも行動に移すことが重要です。省エネ・低炭素型のライフスタイルは、環境にも家計にもやさしく、快適な暮らしにもつながります。下のメニューを参考に、身近な生活の中で、未来のために、いまできることから取り組んでいきましょう！

取組項目			1日のCO ₂ 削減量(g)
リビング 組 にお ける	冷暖房	<input type="checkbox"/> 夏の冷房時の設定温度を1℃高くする。(27℃→28℃)	49g
		<input type="checkbox"/> 冬の暖房時の設定温度を1℃低くする。(21℃→20℃)	85g
		<input type="checkbox"/> エアコンのフィルターはこまめに清掃する(月1~2回)	52g
	照明機器	<input type="checkbox"/> 使用しない部屋の照明は、こまめに消灯する(白熱電球54Wを1日1時間点灯時間を短くする)	32g
		<input type="checkbox"/> 交換時は、省エネタイプの器具へ切り替える(白熱電球→LED電球等)	145g
	その他	<input type="checkbox"/> テレビを見る時間を1日1時間減らす(液晶テレビ20インチ)	27g
		<input type="checkbox"/> 掃除機フィルターはこまめに掃除し、効率を高める(集塵パックの適宜取替)	2g
		<input type="checkbox"/> 事前に部屋を片付けてから掃除機をかける(掃除機をかける時間を1日1分間減らした場合)	9g
<input type="checkbox"/> パソコンを使わない時は、電源を切る。(デスクトップ型を1時間短縮)		51g	
キッチン 組 にお ける	冷蔵庫	<input type="checkbox"/> 季節にあわせて、庫内の温度調節を工夫する(周囲の気温15℃で「強」→「中」にした場合)	99g
		<input type="checkbox"/> 庫内には物を詰め込みすぎず、整理整頓を心がける(中の食材を半分にする)	70g
		<input type="checkbox"/> 壁から適切な間隔をあけて設置する	73g
		<input type="checkbox"/> ドアの開閉回数を少なく、開閉時間を短くする(開ける回数・時間を半減した場合)	27g
	洗い物	<input type="checkbox"/> 食器の洗浄時は、給湯器の温度を低く設定する(設定温度を40℃から38℃に下げた場合)	55g
	調理	<input type="checkbox"/> コンロの炎が鍋底からはみ出さないように火力調節する	15g
		<input type="checkbox"/> 煮物などの下ごしらえは、電子レンジを活用する(キャベツなどの葉菜の場合)	21g
	その他	<input type="checkbox"/> 電気ポットを長時間保温にしないで、使用するとき再沸騰させる	173g
浴室 お け る ト イ レ 組 に	浴室	<input type="checkbox"/> シャワーは、出しっ放しにしない(1日1分短縮)	79g
		<input type="checkbox"/> お風呂は、冷めないうちに続けて入浴し、追い焚きを控える	238g
	トイレ	<input type="checkbox"/> 温水洗浄便座は、使用後はふたを閉める	56g
		<input type="checkbox"/> 温水洗浄便座は、季節に合わせて温度設定を調節する	42g
	洗濯機	<input type="checkbox"/> 洗濯物は、まとめて洗う	10g
		<input type="checkbox"/> 残り湯などを洗濯に有効利用する	16g
自動車 と きの 取 組 す る	自動車利用 の抑制	<input type="checkbox"/> 近距離の移動は、車の利用を控え、徒歩や自転車を利用する(1日2km自動車利用をやめた場合)	168g
		<input type="checkbox"/> 遠距離の移動は、車の利用を控え、電車を利用する(1か月に15回、5kmの自動車利用をやめた場合)	381g
		<input type="checkbox"/> 遠距離の移動は、車の利用を控え、バスを利用する(1か月に15回、5kmの自動車利用をやめた場合)	302g
	エコドライブ	<input type="checkbox"/> ふんわりとアクセルを踏み、急発進はしない	532g
		<input type="checkbox"/> 車間距離に余裕を持って、加減速の少ない運転をする	186g
		<input type="checkbox"/> 前方の信号が赤なら、早めにアクセルオフする	115g
		<input type="checkbox"/> 駐停車中はこまめにエンジンを切る(アイドリングストップ)	110g
物を 購 入 す る と きの 取 組	買い物全般	<input type="checkbox"/> 省包装の選択やマイバッグを携帯し、レジ袋の利用を控える	39g
	家電製品	<input type="checkbox"/> エアコンを買い替える際は、省エネ性能の高いものを買う	477g
		<input type="checkbox"/> 冷蔵庫を買い替える際は、省エネ性能の高いものを買う	473g
	自動車	<input type="checkbox"/> 自動車の購入・更新時は、次世代自動車を選択する (ガソリン自動車をハイブリッド自動車に買い替えた場合、走行距離500km/月)	1,618g
	食品	<input type="checkbox"/> フードマイレージに関心を持ち、食材を購入する際には、地域で生産された食材を選択(地産地消)する	49g
		<input type="checkbox"/> 旬の野菜を食べる	108g
家庭外での食事	<input type="checkbox"/> ペットボトルではなくマイボトルを使用する	39g	

すべて取り組むと、1日当たり約6kgが削減できます

第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)[概要版]

川越市環境部環境政策課 発行

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1 TEL049-224-5866(直通) FAX049-225-9800

E-mail kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp